



第12回うじ井戸端会議を開催しました！！

第12回目(平成30年度の第2回目)となる、うじ井戸端会議を10月4日に開催しました。当日は、まちづくりマイスター、地区まちづくり協議会、その他まちづくりに興味のある方々の、総勢19名の方々にご参加いただきました！

今回は「公共施設について」というテーマで取り組みました。市の行政経営課より出前講座として、宇治市公共施設等総合管理計画の資料を用いて今後の取組方針(公共施設等全体についての基本方針)や宇治市の財源を家計簿に見立てて皆様に分かりやすく、公共施設の修繕・維持管理にどのぐらいの費用が必要か等について説明を行いました。説明の後は質疑応答の時間を設け、皆様が疑問に思われていることについて、沢山のご質問を頂きました。



地区まちづくり協議会パネル展も同時開催していました♪



10月1日(月)～10月5日(金)の期間に市役所1階の市民ギャラリーコーナーにて第6回目となる「地区まちづくり協議会パネル展」を開催しました！今回は8協議会の紹介パネルなどを展示し、多くの方々に立ち寄っていただきました♪

「公共施設について」



行政経営課から宇治市公共施設等総合管理計画等の資料を用いて参加者の皆様に、現在の公共施設の状況や今後の取組方針についてお話させていただきました！その一部をご紹介します！

現在の状況



◆ 建替えや改修が必要な建物が多数あります。

↳ 宇治市の公共施設の多くは、都市化が進んだ昭和 40～50 年にかけて建てられ、そこから約 30 年以上経つものが多くなっています。高度成長期に特に建てられたのが学校でした。

◆ 建替えるには年間 39.7 億円必要になります。

↳ 平成 22 年度～平成 26 年度の 5 年間で、公共施設の建替えや改修のために約 30.8 億円のお金を使いました。今後同じやり方で建替えや改修をすると、年間 39.7 億円かかるというシミュレーション結果になります。

今後の取組方針

◆ 公共施設のあり方について、考えられる対策

建物総量の圧縮

➡ 1つの施設に複数の機能を持たせることで、機能はキープしたまま施設数を減らし、施設の維持費用を削減します。

新しい財源の創出

➡ 民間に売却・貸付することで、新たな財源を生み出します。その場所を活用し、住宅や企業活動が行われることで将来的に新たな税収も期待できます。

建物を長持ちさせる工夫

➡ 設備や建物が壊れる前に、計画的にメンテナンスすることにより、性能や機能を維持し、長寿命化を図ります。事後保全から予防保全に切り替え、コストを削減していきます。

「質疑応答」



「公共施設について」の説明の後に、参加者の皆様から沢山のご質問をお受けしました！

Q：公共施設の総数を減らすにあたって、大きいものから無くしていくのですか？何か実施計画のようなものがあるのですか？

A：個別の実施計画策定については現在、検討委員会等で協議しているところがございます。出来次第、公表させていただきます。

Q：今ある公園は現状維持されるのですか？

A：公園についてはインフラ資産となりますので、今後の人口動向を見据えながら保有量の適正化を図ります。

みんなで
輪を広げよう！！



次日も皆様のご参加を
お待ちしております♪